

真言

発行 宗教法人真言宗豊山派
医王山興福寺大楽院

住 職 酒 主 秀 寛
名譽住職 酒 主 明 寛

ご宝号

「南無大師遍照金剛」をお唱えしましょう。
お墓参りをした後は、本堂にお立ち寄りいただき、ご本尊様
に近況報告をいたしましょう。

医王山興福寺大楽院 役員

代表役員 酒主 秀寛
責任役員 芦口 一美
同 渡辺 勝康
総代 渡辺 芳男
箱崎 豊
小松 イク
會澤 節夫
猪狩 正久
渡辺 好男
草野 公雄
高野 繁男
鈴木 恒男
高野 幹生
高野 幹生
橋本 明
代表世話人 草野 武夫
同 草野 仁
同 小松 岳生
同 草野 久
同 小野 治久
同 根本 正勝
世話人・評議員 新妻 孝
猪狩 芳樹
樋口 陽興
新妻 則彦
渡邊 幸生
猪狩 雄男
猪狩 義栄
小松 信夫
関谷 宗久
猪狩 一信
猪狩 和治
猪狩 三男
久保田 明
渡邊 良平
松本 公一

東日本大震災慰霊法要

三月十一日、相馬市歓喜寺内慰霊堂「慈眼院」において、支所主催の慰霊大般若転読法要が、遠藤賢明支所長を導師に営まれた。当山からは住職が職衆として出席した。

慰霊堂内には、支所下各寺院の東日本大震災物故者の過去帳が納められ、当山では震災以降から避難指示解除までの間にお亡くなりになった六十柱を奉納した。今後、毎年三月十一日は慰霊法要を行っていくことも決定した。

また、当山においては、三月十一日の朝勤行において、慰霊法要を行いました。



くお知らせく
毎月十一日の朝勤行時に月命日法要を行っております。ご一緒にお手を合わせに来てください。方々もおります。ありがたいです。

付属墓地無料開放中です

墓地を希望される方は寺族へご相談ください。無料で開放しております。

転居された方はご連絡を

寺報等が確実に届くためにも、住居を異動された方は、必ずご連絡をお願いいたします。

総代会開催

十二月一日と四月二十一日に総代会が開催され、平成三十年の実施事業報告、三十一年の事業計画等の議案が審議されました。決定した事項は、次の通りです。

- ① 護持費（お寺の維持管理等に充てるもの）については、東日本大震災以降減免しておりましたが、本年2019年よりお願いする。
- ② 大施餓鬼会並びに新盆供養会は東日本大震災震災以前同様に、毎年8月6日に行う。
- ③ 東京電力(株)よりの建物にかかる賠償金は、本堂増改築等基金へ積立てることとし、



の本堂新築や必要な堂宇等の修繕などに充てていくこととする。
④ 檀信徒研修会は、毎年実施を計画する。以上、よろしく
お願いいたします。

水子地藏尊供養会

十一月二三日、供養会が行われた。東日本大震災以降(株)石材店様のご協力により地藏尊の修理を行い、山形美雄氏より毎年頭巾を寄進いただき、供養会長の渡辺芳男氏が毎年供養日(十一月二三日)に供養を継続してきました。

皆様のおかげで合同の供養会ができましたこと感謝いたします。



元旦護摩祈祷会

当山恒例の元朝護摩祈祷会、約五十名の檀信徒においていただき、ご一緒にご祈願いたしました。「今年一年皆様の幸多きことを。」



資料倉庫完成

井出の飯島政義氏より、東日本大震災復興のためにと境内東側の土地(原野・619㎡)の寄進があり、総代会の承認を受け資料倉庫(約56㎡)として整備を進め、この度完成した。



倉庫は、寄進を受けた図書や仏教図書等の保管の為に活用していくこととします。まことにありがとうございました。

尚、氏には住職より感謝状が贈呈された。

大般若経六百巻転読会

当山恒例の転読会を、彼岸の中日である三月二十一日に実施しました。当山には貴重な大般若経が所蔵されており、年に一度来山者と一緒に転読を行っております。今回は、約三十名の皆様にご参加いただき、「災いを外へ、福を内へ」と大きな声で全六百巻を転読しました。



檀信徒研修会を行います

令和元年十月四日(金)、慧日寺跡、ほか寺院参拝を実施。参加費はお一人様三千元(バス代、昼食代など)。大型バス利用予定。定員三十名(先着順)です。どなたでも参加できます。

【行程(予定)】7時大楽院IIいわき公園II会津方面(途中昼食休憩、観光)IIいわき公園II18時大楽院II
くお申し込みは大楽院まで



ゴミの持ち帰りをお願いします

墓地のまわりにゴミが捨てられています。お墓参りの後は、きれいな気持ちでお帰りください。

令和元年大施餓鬼会並びに新盆供養会

- 一期 日 令和元年八月六日(火)
午前十時三十分
- 二期 場 大楽院本堂
- 三期 容 おつとめ指導・法話 十時三十分
法要 十一時
- 新盆家・総代で先祖代々塔婆供養
新盆者供養
- 四 塔婆供養 全檀家様分ご準備いたします。
詳しくは別途お送りします確認書をご覧ください。
- 五 供養料 塔婆一本 五千円
- 六 塔婆引渡 八月六日供養会以降 大楽院本院にて
午前八時〜午後五時

第3回復興音楽イベントが開催される

榊葉町の若者で組織する、ほつつあれDEいいんかいっ??!主催による音楽イベントほつつあれ2019「楽唱」が三月三日、大楽院本堂を会場に開催され、町内外より多くの方々が来山。「踊ろうマサルダ」さんの様々な楽器を奏でる独創的な音色とノスタルジックな歌に聞き入った。

境内では温かい豚汁が振舞われ、来場者からは「お堂の雰囲気と音色がマッチしていて素晴らしかった」との声が聞かれた。

開催にあたりご尽力いただきました皆様に改めて御礼申し上げます。



満善寺観音堂落慶法要

北田地区にある満善寺観音堂がこのほど再興され、多くの檀信徒が見守る中、当山住職が導師のもと落慶法要が行われた。

観音堂は老朽化が甚だしく、当山世話人・評議員猪狩雄男、キヌ子夫妻の寄進、当山檀徒根本次夫棟梁により立派に立て直された。

このお堂が檀信徒、地域の皆様の信仰の場として親しまれ、福寿円満を賜らんことを切に願います。



焚き火night盛会に実施

「地域でできること」として不定期実施している、焚き火nightは、同級生の友人と二人で始めましたが、今では多くの方が交流を深める場となっております。十二月には「冬の陣」、一月には「新春の陣」、四月には「感謝、平成!」として実施しました。



町内はもちろん、関東地方などからもおいでいただき、焚き火を囲み、火のありがたさを再認識し、語り合いができております。「火を囲む〜それだけでわたしたちは幸せになれます〜」

これからも、人が集い楽しめる場づくりをしてまいります。

令和元年 年回表

一周忌	平成三十年
三回忌	平成二十九年
七回忌	平成二十五年
十三回忌	平成十九年
十七回忌	平成十五年
二十三回忌	平成九年
二十七回忌	平成五年
三十三回忌	昭和六十二年
三十七回忌	昭和五十八年
四十三回忌	昭和五十二年
四十七回忌	昭和四十八年
五十回忌	昭和四十五年
百回忌	大正九年

追善供養は毎年行うのが本義です。ここには代表的な年回を掲載しました。また、毎月の命日にお参りする月参りを行えば一層ご供養が深まることでしょう。

寄進

ありがとうございます

- 一. 土地(原野)
飯島政義氏
- 一. 八十八箇所願主
佐藤昌伯氏、佐藤眞智子氏
- 一. 本尊供米
宮本久司氏、渡辺敏正氏、松本公一氏
- 一. 本尊供花
鈴木裕子氏

なお、彼岸・盆・お年賀等のお供えについては、本堂内に掲示してございます。

観音堂祈禱会

三月十七日、井出西原にある観音堂において祈禱会が行われた。

観音堂は馬頭観音、また火伏せ観音として地域の人々の心の拠り所となっていたが、東日本大震災以降祈禱会を実施できずにあつた。

今回、境内の刈り払い、伐根、古遊具の撤去等環境整備を行い祈禱会ができるまでとなった。

当日は震災で犠牲になった畜牛の鎮魂供養を行い、願主により家内安全、事業繁栄、家畜安全等の諸祈願が行われた。

また、大楽院境内への慰霊碑建立の計画についても確認された。



真言宗豊山派医王山興福寺大楽院

法務等のご相談は、下記までお願いいたします。

酒主 秀寛

〒979-0603 福島県双葉郡榊葉町大字井出字谷地36

電話 0240-25-2434 090-3753-3634

FAX 0240-25-4808

酒主 明寛

〒970-8044 福島県いわき市中央台飯野2丁目6番地4 (真言宗豊山派大楽院別院)

電話 0246-28-3560 090-1495-7957

ホームページ <http://dairakuin.net>

e-mail info@dairakuin.net

郵便振替 02220-2-92530 宗教法人大楽院



お寺の最新情報は、SNSで発信しております。

「本格」僧侶二年が経過しました。お寺に住み、この場所で法務ができています。町は一步、震災前の姿を取り戻し、そして新たなまちづくりが進んでおります。一方で、支所内には未だに避難生活を強いられるご寺院も少なくありません。まだまだ時間がかかることが多くあると感じます。これからは自分ができることを背伸びせず、ひとつひとつ行っていくべきと改めて思っております。

当山においては、東日本大震災以降できなかった恒例行事も再開できてきております。五月から新しい元号となり、新しい時代が幕を開けました。

私たちの役割は、お寺に来る皆様に「安心」を持ち帰りたいだくことと思ひ、寺族で取り組んでまいります。どうか引き続きのご指導よろしくお願ひいたします。 合掌 (秀寛)